



2025年1月22日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード：186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

経済安全保障重要技術育成プログラム (K Program) における
「衛星の寿命延長に資する燃料補給技術」に関する
研究開発構想の委託先への採択に関するお知らせ

当社の日本連結子会社である株式会社アストロスケールは、本日 2025 年 1 月 22 日、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、JST）が公募した、経済安全保障重要技術育成プログラム（以下、K Program）における研究開発構想「衛星の寿命延長に資する燃料補給技術」のうち、公募枠「協力衛星を対象とした宇宙空間における燃料補給技術の確立」（以下、本事業）の委託先として採択されましたので、お知らせいたします。本公募枠の予算額は総額最大 120 億円であり、実施期間は原則 5 年以内です。

当社グループでは、将来期待される燃料補給サービスの需要拡大を早期に捉え、燃料補給技術の確立を目指し、軌道上サービスの事業機会を拡充させるうえで、K Program を戦略的に重要なプロジェクトと位置付けております。

1. 本事業の目的

K Program は内閣府主導のもと創設され、中長期的に日本が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術について、科学技術の多義性を踏まえ、民生利用のみならず公的利用に繋がる研究開発及びその成果の活用を推進するものです。具体的には、日本の経済安全保障上のニーズを踏まえつつ、個別の技術の特性や技術成熟度等に応じて適切な技術流出対策を取りながら、研究開発から技術実証までを迅速かつ柔軟に推進するものです。

本事業では、軌道上サービスを受けるために予め準備されている衛星（協力衛星）を対象として、関連する必要技術を開発するとともに、それらを統合して宇宙実証を行うことで、燃料補給システムとしての成立性を確認することが目的とされています。それにより、軌道上の衛星への接近・捕獲技術を強化し、測位や通信、リモートセンシング等の生活や経済社会の基盤である宇宙システムの安定性及び継続性強化に貢献することが狙いとされています。

2. 本事業の概要（予定）

募 集 機 関 ： 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
研究開発構想 ： 衛星の寿命延長に資する燃料補給技術（プロジェクト型※1）
公 募 枠 ： 協力衛星を対象とした宇宙空間における燃料補給技術の確立
予 算 額 ： 総額最大 120 億円（間接経費を含む。）※2
実 施 期 間 ： 研究開発開始から原則 5 年（60 ヶ月）以内

※1：研究開発構想には、重要技術の獲得を目指す比較的大規模な研究開発プロジェクトの研究開発構想（プロジェクト型）と、重要技術となり得る要素技術等や研究開発プロジェクトの高度化に資する要素技術等の獲得を目指す個別研究の研究開発構想（個別研究型）があります。

※2：公募枠としての上限であり、消費税等を含みます。消費税等の取扱いについては、契約締結の際に速やかに情報開示いたします。

当社グループは、これらの技術は軌道上サービスにおいて共通的に活用可能な技術であり、技術的な応用範囲も大きく、燃料補給システムとして早期の実証を達成することで、今後世界の軌道上サービス市場の更なる獲得が期待されると考えております。

3. 今後の見通し

研究開発課題の開始に当たり、今後予定されている JST や研究開発構想の指揮・監督を行うプログラム・ディレクターとの協議などを経て研究開発計画を確定させた上で JST と本事業に関する研究開発課題に関する委託研究契約等の締結手続きを進めます。本事業の影響は、2025 年 4 月期通期の連結業績予想に含めております。本件に関する収益は実施期間にわたって計上される予定です。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに情報開示いたします。

以上